

社会インフラを活用した地域振興の取組

- 新丸山ダム建設事業(既設丸山ダムの嵩上げ)に伴い整備した付替道路(国道418号)の「「しんたびそこばし」新旅足橋」で、八百津町が必要な許可を受け、運営会社がバンジー・ジャンプを開始
- 落差215mは日本一の高さ(従来の日本一は茨城県常陸太田市竜神大吊橋の100m)

付替道路(国道418号)の整備によりアクセスが大幅に向上
 ・八百津町から恵那市飯地町までの間の移動時間が
従来75分を要していたものが**35分**に短縮

令和2年8月2日、古田岐阜県知事、金子八百津町長等の列席のもと、オープニングセレモニーが執り行われ、テープカット後に八百津町のイメージキャラクター「やおっち」が記念ジャンプ

令和2年8月2日から
 岐阜バンジー開始



猛暑を忘れさせる
 爽快感でした



付替道路(国道418号 L=約16km)
 供用区間(L=約12km、H22.3供用開始)



社会インフラを活用した地域振興の取組

○新丸山ダム工事事務所の若手職員3名がバンジージャンプに挑戦(令和2年12月3日)

○ジャンプの様子は「新丸山ダム工事事務所Webサイト」で公開中 <https://www.cbr.mlit.go.jp/shinmaru/index.html>



工事課 藤井 春香
(入省3年目;道路工事の設計、発注、監督を担当)



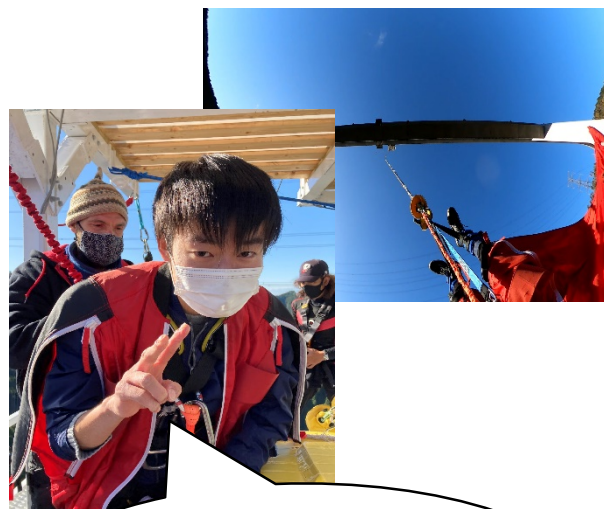
私たちが造った橋でバンジージャンプができて感激です。

工事課 柱野 真也
(入省1年目;道路工事の設計、発注、監督を担当)



想像を超える高さでした。僕もこんな橋を造りたいです。

調査課 松原 翔太郎
(入省1年目;ダム本体の設計、施工計画を担当)



自分が住む八百津町で、日本一の体験ができて最高でした。